TOSHIBA

取扱説明書

LDE60008f
(INA-F0228f)

補助接点ユニット

ヘッドオンタイプ

形式
TB-AX40H/65
TB-AX31H/65
TB-AX22H/65
TB-AX11H/65

サイドオンタイプ

形式
TB-AX11S/65

機械ラッチ形専用
TB-AX11C

適用電磁接触器形式
CA13, CA20, CA21, CA25, CA35, CA50, CA65

適用補助継電器形式
AR4, AR5

この取扱説明書は，最終使用保守責任者のお手元に届くよう十分にご配慮ください。

安全上のご注意

取付け，運転，保守・点検の前に，必ずこの取扱説明書とその他の付属書類をすべて熟読し，正しくご使用ください。機器の知識，安全の情報そして注意事項のすべてについて習熟してからご使用ください。
この取扱説明書では，安全注意事項のランクを「警告」「注意」として区分してあります。

⚠警告：回避しないと，死亡または重傷を招くおそれがある危険な状況を示す。

⚠注意：回避しないと，軽傷または中程度の傷害を招くおそれがある危険な状況および物的損害が発生するおそれがある場合を示す。

なお，⚠注意に記載した事項でも状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも重要な内容を記載していますので必ず守ってください。

⚠警告

- 通電中は製品に触れたり近づいたりしないでください。感電，火傷のおそれがあります。
- 保守・点検は電源を切って行ってください。感電のおそれがあります。

⚠注意

- 取付けは，取扱説明書に規定されたスペース以上を確保して行ってください。火傷，火災のおそれがあります。
- 配線は印加電圧，通電電流に適した電線サイズを使用し，取扱説明書に規定された締付トルクで締付けてください。火災のおそれがあります。
- 電源を切った直後の製品には触らないでください。熱くなっていますので火傷のおそれがあります。
- 製品を廃棄する場合は，産業廃棄物として取り扱ってください。

1. 荷ほどき

(1) 形式，接点構成がご要求の仕様と一致しているか確認してください。
(2) 輸送中の事故などによる部品の脱落や破損がないか点検してください。

2. 保管

高温多湿，腐食性ガスおよび直射日光を受ける場所を避け，梱包状態で保管してください。

3. 取付け

3.1 適用範囲

ヘッドオンタイプか，サイドオンタイプのいずれかで使用してください。
両タイプを同時に取付けて使用することはできません。

3.2 取付け・取外し方法

(1) ヘッドオンタイプ（図1）

- 取付けはユニットを①方向から本体に押し付けて，ユニットのフックが本体の取付溝に引っかかるまで②方向へ移動させてください。
  取付け後，ユニットの可動部を押してスムーズに動くことを確認してください。
- 取外しはユニットのフックを指で引上げ③方向へ移動させてください。

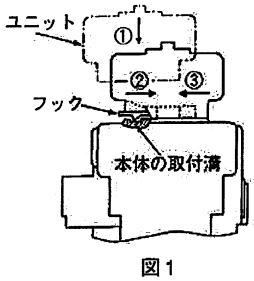

図1

(2) サイドオンタイプ（図2）

- 取付けは本体の可動部を④方向に押した状態で，本体可動凹部にユニットの可動凸部を挿入し，本体の取付溝にユニットのフックが引っかかるまで⑤方向にユニットを押し込んでください。
  取付け後，本体の可動部を押して，スムーズに動くことを確認してください。
  ねじによる取り付けは出来ません。
- 取外しは上下フレームを分割してから⑥方向へ引き離してください。

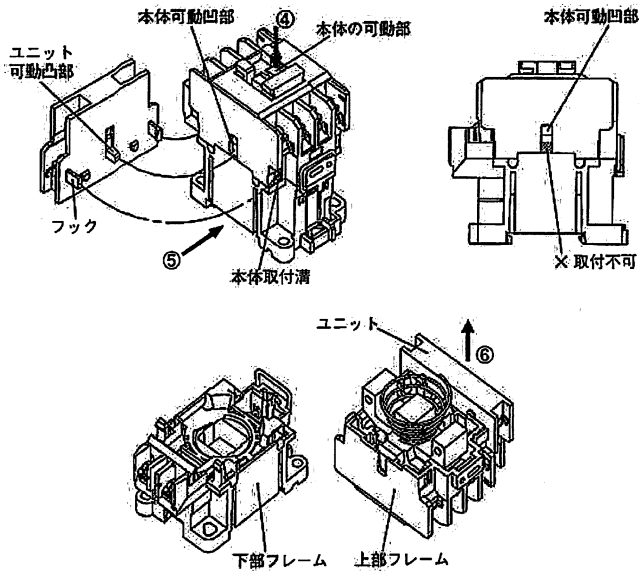

図2

4. 取付スペース（図3，4）

取付けは下表の寸法以上離してください。

A寸法	0mm
B寸法	10mm
C寸法	1mm

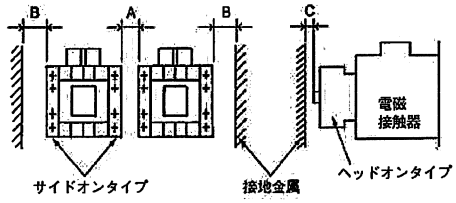

図3　図4

5. 配線

接続可能電線サイズと推奨締付トルクを下表に示します。

接続可能電線サイズ mm/mm²	締付トルク N・m	ねじサイズ
φ1.2～2/1.25～2	0.8～1.0	M3.5

6. 保守・点検

6.1 運転前の点検

(1) ねじのゆるみがないことを確認してください。
(2) 電線くず，ワッシャなどが製品にはさまっていないか，可動部を手で動かしてスムーズに動くことを確認してください。

6.2 定期点検

運転後は早めに初期点検しその後は定期的に点検してください。

6.3 接点交換

接点のみの交換はできません。補助接点ユニットごと交換してください。

東芝産業機器システム株式会社

URL http://www.toshiba-tips.co.jp